

富山県 大阪・関西万博 シンポジウム

入場
無料

参加者
募集

定員300名

～万博から世界へ。幸せ人口1000万を目指す富山県の戦略～

日時
2025年 **1月21日** 火
13:00 - 15:20 開場 12:30

会場 **スカイホール**
(富山市牛島新町5-5 タワー111)

2025年4月13日、いよいよ開幕!!

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。
今まで体験したことがないワクワクがいっぱいです!

そして、富山県は6月27日～29日の3日間、ブース出展し、
寿司を入口として自然・食・文化・伝統工芸など富山の魅力を発信します。
大阪・関西万博は、富山を世界にPRするチャンスです。
本シンポジウムは、そんな万博の魅力を余すところなくお伝えします!!

第1部 「万博で広がる富山の魅力。 寿司で描く県のビジョン」



寿司といえば、
富山

富山県知事
新田 八朗

1958年富山市生まれ。一橋大学卒。1983年日本海ガスに入社し、2000年から20年間代表取締役社長を務める。18年日本海ガス紳ホールディングス代表取締役社長に就任、20年退任。元日本青年会議所会頭、富山経済同友会特別顧問。20年10月の富山県知事選挙で初当選。現在2期目。



万博テーマ事業
プロデューサー

アニメーション監督
メカニックデザイナー
ビジョンクリエイター
河森 正治

1960年南砺市(旧平村)生まれ。慶應義塾大学在学中に原作者としてTVアニメ「超時空要塞マクロス」に携わり、23歳の若さで劇場作品「超時空要塞マクロス 愛・おぼえていますか」の監督に抜擢。「ガンダム」シリーズ、「攻殻機動隊」、「アーマード・コア」のデザイン等幅広く活動。



寿司ビジネスで
日本食を世界に

東京すしアカデミー
代表取締役校長
福江 誠

1967年小矢部市生まれ。金沢大学卒。経営コンサルタントとして数々の寿司店の経営改善に取り組む。2002年東京すしアカデミーを設立。国内寿司店および海外50カ国以上の日本食レストランの運営に携わる。主な著書「日本人が知らない世界のすし」(日本経済新聞出版社)。



総合司会
聞き手 松井 康真

1963年南砺市(旧井波町)生まれ。東京工業大学卒。1986年テレビ朝日にアナウンサー入社。ニュースステーション、ミュージックステーション、プロ野球中継など担当多数。2023年退職後、南砺市に「OFFICEユズキ」を設立。24年タミヤ模型史研究顧問に就任。初の南砺市アンバサダー。

第2部 「未来を拓く、新たな伝統工芸の可能性」



日本の伝統工芸を
世界に発信!

南砺市長/
万博首長連合会長代行
田中 幹夫

1961年南砺市(旧利賀村)生まれ。工学院大学卒。2004年、南砺市誕生となる平成の大合併(4町4村)を機に南砺市議会議員選挙に出馬し当選。08年南砺市長選へ出馬し当選。現在5期目。「知足利他」がモットーで、「一流の田舎」を目指している。



代表作に
「マクロス」
シリーズ、
「アクエリオン」
シリーズ

アニメーション監督
メカニックデザイナー
ビジョンクリエイター
河森 正治



鑄造技術×発想力で
世界中を魅了

株式会社 能作
代表取締役社長
能作 千春

1986年高岡市生まれ。神戸学院大学卒。2011年能作に入社。製造部物流課長などを経て、17年の新社屋移転を機に産業観光部長として新規事業を立ち上げる。18年専務取締役就任し、能作の顔として会社のPR活動に取り組む。23年3月から現職。



世界が目にする
蛭谷和紙唯一の
継承者

川原製作所
越中和紙職人
川原 隆邦

1981年入善町生まれ。2003年に蛭谷和紙唯一の継承者である米丘真吉氏に師事し、09年に川原製作所を設立。15年に立山町に作業場を移転。ループル宮パリ装飾美術館での展示や、富山県民会館ロビーの内装、TOYAMAキラリの壁面、東京虎ノ門グローバルスクエアの壁面作品など国内外で活躍中。

申込方法

参加ご希望の方は、二次元コードまたはホームページ
(<https://www.kp-kikaku.jp/>)より。
ハガキも可。次の項目をご記入の上、右記の申込先まで。
●氏名(フリガナ) ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●職業



お問合せ
お申込み

北日本新聞社 メディアビジネス局
「万博シンポジウム」係
電話 076-445-3326 (平日10時～17時)
〒930-0094 富山市安住町 2-14

申込締切 2025年1月19日(日)
※定員になり次第終了

北日本新聞イベント & キャンペーン 検索

主催：内閣官房国際博覧会推進本部事務局
共催：北日本新聞社 後援：富山県